ライブ毎刊びゃっきープレス

byacky press

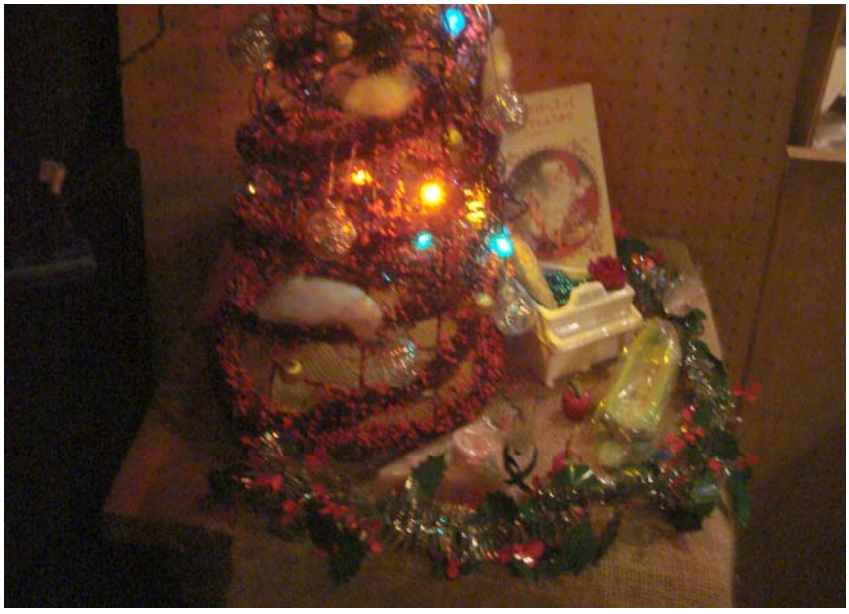
2006
12 月 23 / 30 日号
ライブ当日発行

無料配布
↑あたりまえ

発　行　(謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp
配　布　びゃっきーご本人かライブハウスの人

RAMBLING Satellite
役にたたない偏重サイト
情報がグレードダウン!!
アクセス不要
http://www.satram.jp/
info@satram.jp

年末クリスマス



びゃっきーと年末
今年一年の総決算

今年も忙しい暮れの季節がやってきた。クリスマスに年末と、出費もかさむこの季節。正月に向けての準備や餅代を調達しなくてはならないし、何かと気が重い。餅代がどうにもならない場合は、笠地蔵に期待するしかない。しかし今の人は笠が編めない。はてさていかにして今年を乗り切ったものか。

今年も何かと厳しいこのシーズンがやってきた。正月の餅代にも事欠くこの不景気なご時勢、年末に向けて、クリスマスなぞという、危険に満ちたイベントもあり、大掃除やら年賀状書きやら、億劫なイベントも目白押し。びゃっきーも例に漏れず、あくせく師走を暮らしている。

びゃっきーとクリスマス

歌うたいたるもの、クリスマスソングの1つも用意しておかなければならないのが世の常であるが、びゃっきーは思うところあってクリスマスソングを作る気にちっともならない。まず、クリスマスに対するスタンスが世間一般と違う。何か世間ではチャラチャラと楽しそうだが、びゃっきーはクリスマスを「一年で最も孤独を思い知らされる日」と位置付けている。周りが騒がしい分、耐え難い寂しさが襲ってくるのである。全くキリストも罪作りな人である。

だったらそういう歌を作ればいいだろう、という説もあるが、それができない。例えば、山下達郎さんの「クリスマスイブ」ですか？　いやいや、アレを聴いて涙している人はまだまだ余裕がある。呑気さすら感じさせる。もっとヤバイ人は叫ぶ詩人の会の「東京聖夜」を聴きながら青い顔をしているに違いない。そう、びゃっきーは若かりし頃に、叫ぶ詩人の会の「東京聖夜」を聴き、「あぁ、これこそがクリスマスだよ」と思い、これ以上のものは作れないだろう、と自分でクリスマスソングを封印した過去があり、クリスマスソングが作れないのだった。みなさんも機会があったら、叫ぶ詩人の会の「東京聖夜」を聴いてみるといいだろう。

びゃっきーと年賀状

びゃっきーは美術の時間に自分で絵を描いた記憶がない（家に持ち帰り、家族にやらせていた）ほどに、絵心がない。そのため、年賀状というイベントも果たして苦手である。若かりし頃は「年賀状なぜ出さなくても死にゃせんわい！」と息巻いていたものの、近年では孤立を恐れてか、割とまめに年賀状を出している。幸いにして身近に絵心のあるイラストレータがいるために、絵の心配もなく、少し気楽に構えられるようになった。しかし全てが手書きなため、枚数が増えてきたらとてもおっつかなくなりそうである。CDレーベル印刷用にプリンタも購入したので、印刷にしようかとも考えているが、いらぬ心配かもしれない。あぁここでもプチ寂しさを感じさせられる。

びゃっきーと大掃除

びゃっきーの大掃除は台所との格闘である。油でギトギトになったガスコンロ周りとレンジフードと毎年悪戦苦闘している。今年は仕事が毎日大変だったのと、休日もライブ三昧だったため、料理の方はさぼり気味。割と楽に大掃除が行えるのではないかと思われる。

びゃっきーと今年一年

最後に今年一年のびゃっきーを振り返る。今年はライブ回数が多くて、全部で37本かな？　会社勤めの歌うたいとしてはなかなか精力的だったと思う。みなさんの応援のおかげである。その他、テレビあり、ラジオあり、アルタビジョンあり、結構激動な一年だったと思う。本当にみなさんのおかげと言うしかない。本当にありがとう。そして来年もみなさんをギョっと言わせるので、よろしく。

（びゃっきー）